

INFORMATION

No. 2210-36

新規受託のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、下記の項目につきまして、新規受託を開始させていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。

敬具

記

■検査要項

コード	検査項目名	採取容器	検体量	検査方法	単位	所要日数	報告範囲
1244	アスペルギルス抗体IgG	A	血清 0.4mL (凍結)	EIA	AU/mL	5日～ 8日	2未満～ 80以上

〈判定基準〉

AU/mL	判定
5未満	陰性
5～10未満	判定保留
10以上	陽性

※保険未収載項目となります。

※臨床的意義等につきましては、裏面をご参照ください。

■受託開始日

2022年 10月 29日(土) より受託開始

株式会社 武蔵臨床検査所

* お問い合わせは当社または担当者までお願いいたします。

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢309-8
TEL 04-2964-2621 FAX 04-2964-6659
URL <http://www.e-musashi.co.jp>

■ アスペルギルス抗体 IgG

アスペルギルス症の診断補助に有用な検査です。

アスペルギルス症は、侵襲性肺アスペルギルス症 (invasive pulmonary aspergillosis: IPA)、慢性肺アスペルギルス症 (chronic pulmonary aspergillosis: CPA)、アレルギー性気管支肺アスペルギルス症 (allergic bronchopulmonary aspergillosis: ABPA) の病型に大別されます。感染症としてのIPAとCPAでは下気道検体からの培養検査が確定診断となります。血清学診断では β -Dグルカンがスクリーニング検査として有用ですが特異的でないとされています。ガラクトマンナン (galactomannan: GM) 抗原はIPAの診断には有用ですが、CPAに対しては感度が低いことが報告されています。抗体検査にはCF法、沈降反応、ELISA法などがあり、CPAではGM抗原に比べ有用性が高いことが報告されています。ABPAの診断にも特異的IgGの検出が有用とされています (Rosenberg診断基準)。

■ 関連する主な検査項目

- ・アスペルギルス抗原 [項目コード;4173]
- ・(1→3)- β -D-グルカン [項目コード;2700]